

両ひざをついて、上半身の使い方の手本を見せる五十嵐さん。6月8日、出雲市矢野町の出雲ドーム



出雲市矢野町の出雲ドームで6月8日、世界少年野球推進財団(WCBF)、王貞治理事長が主催し、JA全農が特別協賛した「JA全農WCBF少年野球教室」が開催されました。市内12の少年野球チームから小学4～6年生の児童164人が参加し、元プロ野球選手から熱心な指導を受けました。

元プロ野球選手が熱心に指導

出雲ドームで少年野球教室

ニング、ストレッチを行った後、投げ方・打ち方、走塁の基本、ポジション別の基本について学びました。

投げ方の基本について五十嵐さんは、「右投げの場合、前に出した左手のグローブを目掛けて右腕を振るとコントロールが良くなるとアドバイス。ピッチャーの練習では、「一人ひとりの投球フォームを見て、それぞれ「いいね」と声をかけながら、リッラクスして投げること、上体を倒さないで重心移動することなどをアドバイスしました。

前田さんはバッティングの基本を指導。(今、流行している)アッパースイングが適しているのは大谷翔平選手らメジャーリーグの一部の選手だけだとし、「まず、基本のレベルスイングを磨いてほしい」と話しました。その上で「しっかり練習して自分のオリジナルを作ってほしい」と呼びかけました。

練習後、指導した4人は児童らの印象について「明るく、返事も大きくなって気持ち良かった」と声をそろえ、今後に向けて「野球を楽しむ(五十嵐さん)」「実戦に生かす(田村さん)」「基本を大切に(緒方さん)」「自分の感覚を大事に(前田さん)」と、それぞれエールを送ってくれました。

シリーズ

郷土の偉人

22



山中鹿介

山中鹿介(幸盛)は、山陰地方で最も有名な戦国時代の武将の一人で、大名・尼子氏の家臣です。毛利氏との争いで尼子氏が滅亡した後、不屈の精神で再興(※1)のために3度も戦った、忠義の武将として語りつがれています。

忠義のために戦った戦国武将



安来市広瀬町富田の史跡富田城公園

鹿介は、1545年、尼子氏臣下の山中家に生まれました。1562年、山陰地方に侵入を続ける毛利元就との出雲の戦いで敵の勇猛な武将を討ち取りその名を広めました。しかし、拠点であった月山富田城(安来市)が落城し、尼子氏は滅亡しました。1569年、再興のために兵を挙げましたが、布部山(安来市)の戦いに敗れ、毛利氏の捕虜となりました。その後逃亡すると、同じ毛利氏を敵に持つ山名氏と手を結びました。因幡国(鳥取県)を攻略し、一度は尼子氏再興に成功しますが、山名氏が毛利氏に寝返り、再び敗れました。1577年には、織田信長の配下として羽柴

秀吉の中国遠征の先鋒隊(※2)として、播磨国(兵庫県)の上月城で再度毛利氏と戦いますが、翌年、援軍がないまま敗れると、鹿介は殺害されました。鹿介は、七難八苦(※3)の悲運の武将として伝えられ、忠義のために尽力した生涯は、戦前の教科書に採用されました。

- (※1) …一度衰えたものを、再び盛り返すこと。
- (※2) …先頭に立って移動する先導部隊。
- (※3) …多くの苦難が重なること。



わたなべこどもクリニック

小児科/渡辺 浩・婦人科/渡辺 祐実

出雲市武志町836-3(北陽小となり) TEL(0853) 30-8020

～ 病児保育室 ひよこ 併設 ～
TEL(0853) 25-8104

嘉村 医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	×
13:30~15:30(往診)	○	○	○	×	○	○	×
16:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×

糖尿病学会認定専門医 嘉村 正徳

出雲市上島町1025
TEL(0853) 48-0666 FAX48-9022

相川耳鼻咽喉科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~18:00	○	○	○	○	○	※

出雲市小山町269-1
TEL(0853) 25-3387

※13:30~16:00
(7~9月のみ土曜午後休診)
休診日/水曜午後・木曜午前・日・祝日

